

2016～2017年度330複合地区ガバナー協議会

第1回LCIF・緊急援助委員会議事録

日時： 2016年10月3日（月）15：00～17：00

会場： 330複合地区ガバナー協議会事務局「会議室」

司会： 上山博愛

記録者： 吉本晴夫

（出席者名簿、式次第：別紙添付）

【議事 要約】

1. 大熊委員長挨拶

1年間よろしくお願ひしたい。

目標額を目指していきたいと思ひます。

又、東北についての緊急援助については、まだ現在話はない状況です。

2. ・大石エリアコーディネーター挨拶

一緒に勉強をしていきたい。

来期は創立50周年を迎える。1000億円位の事業を行ってきた。

・安達複合地区コーディネーター挨拶

目標をかかげて行ふ。 1人100ドル献金を増やす。

交付金についても話がしたい。 山田理事長の方針に従って行動したい。

北海道・岩手の災害については、現地のガバナーが申請してすでに受けている。

3. 議事作成者に吉本副委員長を指名した。

4. 出席者の紹介、自己紹介を行つた。

5. 報告及び議事

1) 諮問事項について 議長より別紙の通り

委員会諮問事項(1)～(5)を読み上げる。

- (1) コーディネーターに指導してもらいたい。
- (2) 交付金の申請を各地区から早くあげてもらおう。
- (3) 100%献金クラブを奨励する。
- (4) 自然災害等についてガバナー協議会に協力する。
- (5) 他のMDについての体制について情報を得る。
大石コーディネーターから助言をもらう。

・安達Lより

100名が被災されれば、新聞のコピーを添付して（ガバナーのサインがあればOK）本部にFAXすると30日以内に申請すれば1週間位でおりてくる。

・山上Lより

埼玉の竜巻の災害は、出し遅れて申請できなかった。

・大熊Lより

クラブで1000ドル献金は対象とならない。

- 各メンバーに分けて送ればいい。
- 申請用紙にチェックを入れる。

2) 各準地区の現況について

安達L ①の表についての説明

②303地区の7～8月の伸び率が全国的に伸びている。

A地区 伊賀L 時のGの人事で適材適所になっていない。

前年は最下位だった。

目標100万ドル 14地区のリジョンでの公式訪問で説明した。

予約カードを作った。個人別献金表をコピーして開示している。

B地区 大川L 9月末220口 MJF・前期と同じ位、横浜で1回セミナーを開いた。

山梨地区でもセミナーを開催したい。

横浜の1クラブでその気のないクラブに訪問してセミナーを開催する予定。

C地区 山上L 期が代わった都度、自発的に献金してもらえる状況を作りたい。

Gがセミナーを開催しないので、公式訪問でGより説明してもらおう。

※リーダーが先に献金すべき。(キャビネット3役・地区役員・クラブ会長等)

9月末 73,900ドル 84% 54口

3) 今期の委員会活動について

スタートダッシュが非常にいい。

数字の出る委員会である。

A地区 11月7日 10:00~12:30 山田理事長のセミナーがある。

斉藤L 交付金申請の流れを文書で作ってほしい。

大石L ①小冊子「LDIFの早わかり」を持って勉強して欲しい。

②交付金の申請について

次回の会議

平成29年1月23日(月) 15:00~17:00 + 懇親会

開催場所 MD事務局会議室

閉会の言葉 L高野清